

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第448号(平成24年9月5日発行)

【今週号の主な内容】

■《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません。

■《RPPC・広報部会からのお知らせ》

★ 早稲田大学重点領域研究機構主催シンポジウム 開催のご案内

～「アジア圏における安全・安心な資源循環システムの構築に向けた現状と展望」～

★ 酒田港国際資源循環フォーラム開催のご案内

■《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 民主党港議連、羽田国交相に港湾予算確保を要望
2. 第3回衣浦港計画検討委開催、バルク貨物拠点やリサイクル
3. 社会資本整備重点計画を閣議決定(8月31日)

=====

《RPPC・広報部会からのお知らせ》

★ 早稲田大学重点領域研究機構 循環型環境経済共創システム研究所 主催シンポジウム

～「アジア圏における安全・安心な資源循環システムの構築に向けた現状と展望」～

【趣旨】

近年、潜在的資源である「都市鉱山」の開発への注目が集まっています。こうしたなかで、これまでに早稲田大学環境総合研究センターではアジア圏での広域連携による循環型環境経済社会システムの構築を目指し、溶融飛灰の広域資源化、自動車・小型家電のリサイクル、国際資源循環、および静脈施設における安全・安心対応策等の研究を展開してきました。

これを機に、これまでの取り組みの成果及び今後の研究の方向性について報告するとともに、本研究に協力いただいている各方面の方々とのディスカッションの場を設け、産官学一体となった議論を展開することで、3Rの観点から循環型社会の構築に向けてより一層取り組みを強化していきたいと考えております。

【開催日時】

2012年9月18日(火) 13:30～17:15(開場:13:00)

【会場】

早稲田大学 63号館 2階会議室(西早稲田キャンパス内)

最寄り駅:東京メトロ「西早稲田駅」

【参加申込み】

参加費無料／事前登録制（定員 100 名）

https://www.wnp.waseda.jp/portal/services/Application/module/Application.php?mode=preview&enq_id=4dd52fe1329cfae0ea4aed6c

【問合せ先】 循環型環境経済共創システム研究所 事務局 児玉

TEL: 03-5272-6326 E-mail: m.kodama2@kurenai.waseda.jp

* 詳しくは、添付資料をご参照ください。

【事務局】

=====

★ 酒田港国際資源循環フォーラム

【趣旨】

昨年11月に酒田港がリサイクル貨物に係る日本海側拠点港に選定をされたことを受け、昨年まで酒田港・能代港・姫川港の三港で行ってきた合同勉強会を、酒田港が中心となり、他のリサイクルポートとも連携し、国内のリサイクルポートとの情報交換、交流を行い、リサイクルポートのさらなる物流拡大を図る機会にしたいと考えております。さらにこの度、中国・韓国まで含めた国際資源循環ネットワークの構築を目指し、下記のとおり酒田港国際資源循環フォーラムを開催することと致しました。

【開催日時】

平成24年9月20日（木） 14時30分～17時30分

【会場】

ホテルリッチ&ガーデン酒田（山形県酒田市）

【参加申込み】

参加費無料／添付資料にてお申し込みください。

【問合せ先】

酒田港リサイクル産業センター 内

NPO法人庄内リサイクル産業情報センター 事務局 阿曾智彦

TEL:0234-31-7117(直通) FAX:0234-33-2660

* 詳しくは、添付資料をご参照ください。

【事務局】

.....

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 民主党港議連、羽田国交相に港湾予算確保を要望

民主党港湾振興議員連盟(会長・三井辯雄元国土交通副大臣、会員 109 名)の役員は 8 月 30 日、国土交通省に羽田雄一郎国土交通大臣を訪ね、25 年度港湾関係予算の必要額確保を要望した。25 年度港湾関係概算要求に係る民主党港湾議連の決議文を大臣に手渡し、必要予算の背景などを説明して港湾重点化への理解を求めた。

当日要望したのは去る 8 月 9 日に開催した民主党港湾振興議員連盟第 7 回総会で決議した 25 年度概算要求に向けた重点事項。同総会では「我が国の国家戦略上、港湾整備は不可欠」との標語のもと、①震災からの復興と全国防災、②国際競争力の強化と地域の経済・産業の活性化、③海洋の開発・利用・保全の戦略的な推進、の 3 項目を 25 年度要求の重点要望として決議している。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 第 3 回衣浦港計画検討委開催、バルク貨物拠点やりサイクル

愛知県港湾課はこのほど、第 3 回衣浦港港湾計画検討委員会(委員長・鬼頭平三日本港湾協会理事長)を開催し、衣浦港の概ね 30 年後の姿を描く長期構想をまとめた。港湾計画のフレーム(案)などについてまとめている。次回の第 4 回委員会において次期港湾計画改訂の素案に向けた施設計画等について議論する予定。

今回の第 3 回計画検討委では長期構想の基本施策として、①物流・産業、②交流・環境、③安心・安全、を掲げており、特に「物流・産業」分野では、外港地区を対象に中部圏のバルク貨物の拠点港として、競争力強化を図る方向を打ち出している。

また金属くずや瓦等の循環(リサイクル)資源の取扱機能の向上を図り、背後圏の循環型社会の構築に貢献する。現状で様々なふ頭で取り扱っている金属くずを集約し、港湾機能の向上を図る。

【港湾空港タイムス】

.....

3. 社会資本整備重点計画を閣議決定(8 月 31 日)

国土交通省が取りまとめを進めて来た平成 24 年～28 年度の 5 カ年間のインフラ整備の指針となる新たな「社会資本整備重点計画」が 8 月 31 日、閣議決定された。

「安全・安心な生活、地域等の維持」、「国や地球規模の大きな環境変化、人口構造等の大転換への対応」、「新たな成長や価値を創造する国家戦略・地域戦略の実現」という三つの視点のもと、「国土の保全」、「暮らしの安全の確保」、「地球環境問題への対応」、「国際競争力の確保」、等といった九つの政策課題を設定し、中長期的な社会資本整備の方向性を示している。

港湾関係では▽大規模地震が特に懸念される地域の港湾における緊急物資供給可能人口を 28 年度末までに約 2950 万人(23 年度 2640 万人)、▽日本発着コンテナ貨物の釜山港等東アジア主要港で

のトランシップ率を平成 27 年に 5% (20 年 10%)、▽国際海上コンテナ・バルク貨物輸送コストの低減
(28 年度末までに 22 年度比 5%低減)等。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者:RPPC 広報部会

部会長:本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員:細貝 隆司 五洋建設(株)

徳田 英司 新日本製鐵(株)

丸山 裕之 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団(内)

担当:首藤、大矢、小高 URL:www.rppc.jp E-mail:rppc@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたら

ご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####

早稲田大学重点領域研究機構 循環型環境経済共創システム研究所 主催シンポジウム
「アジア圏における安全・安心な資源循環システムの構築に向けた現状と展望」

開催要領

1. 主旨

近年、潜在的資源である「都市鉱山」の開発への注目が集まっています。こうしたなかで、これまでに早稲田大学環境総合研究センターではアジア圏での広域連携による循環型環境経済社会システムの構築を目指し、溶融飛灰の広域資源化、自動車・小型家電のリサイクル、国際資源循環、および静脈施設における安全・安心対応策等の研究を展開してきました。

これを機に、これまでの取り組みの成果及び今後の研究の方向性について報告するとともに、本研究に協力いただいている各方面の方々とディスカッションの場を設け、産官学一体となった議論を展開することで、3Rの観点から循環型社会の構築に向けてより一層取り組みを強化していきたいと考えております。

2. 開催日時

2012年9月18日（火） 13:30～17:15（開場：13:00）

3. 会場

早稲田大学63号館2階会議室（西早稲田キャンパス内、最寄り駅：東京メトロ「西早稲田駅」）

*「6. 会場地図」をご参照ください

4. 次第

【開会挨拶】 13:30～13:35

永田 勝也 早稲田大学重点領域研究機構 循環型環境経済共創システム研究所 所長
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 教授
循環型環境経済共創システム研究所 所長

【趣旨説明】 13:35～13:50 アジア圏における安全・安心な資源循環システムの構築に関する包括的研究

小野田 弘士 早稲田大学環境総合研究センター准教授

【成果報告】 13:50～14:15 「リユース部品の在庫【見える化】システムの構築及びCO2削減効果情報提供プラットフォームを活用したインセンティブ付与に関する実証事業(平成23年度自動車リサイクル連携高度化事業)」

中嶋 崇史 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 永田・小野田研究室
株式会社早稲田環境研究所 代表取締役

【成果報告】 14:15～14:40 「既存インフラを活用した使用済み小型家電等からの資源回収システムの設計・評価に関する研究（平成23年度環境研究総合推進費補助金）」

小野田 弘士 早稲田大学環境総合研究センター准教授
中嶋 崇史 早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科 永田・小野田研究室
株式会社早稲田環境研究所 代表取締役

【成果報告】 14:40～15:15 溶融飛灰の山元還元システムの高度化に関する研究

胡 浩 早稲田大学環境総合研究センター 客員次席研究員

休憩：10分

【講演】 15:25～15:50 「住宅系建設廃棄物の循環システムの構築に向けた取り組み（仮）」
上川路 宏 早稲田大学重点領域研究機構 循環型環境経済共創システム研究所 招聘研究員

【講演】 15:50～16:50 大連モデル園区における事業状況と中日連携の将来展望
小林 均 東達集団/大連国家生態工業モデル園有限公司 副総経理、技術士（衛生部門）、
早稲田環境総合研究センター招聘研究員

【質疑応答】 16:50～17:10

【閉会挨拶】 17:10～17:15

小野田 弘士

5. 主催・共催

主催：早稲田大学重点領域研究機構 循環型環境経済共創システム研究所

共催：早稲田大学環境総合研究センター、NPO 法人循環型経済社会推進機構

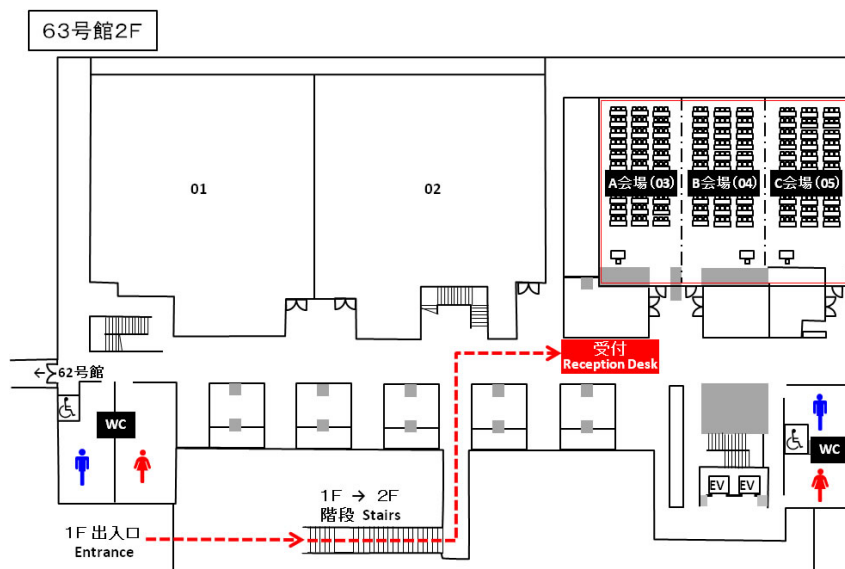
6. 会場地図

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス63号館 2階 05会議室

交通：東京メトロ副都心線西早稲田駅 3番出口

東京メトロ東西線 早稲田駅

J R 山手線/西武線 高田馬場駅



7. 参加申込み： 参加費無料／事前登録制 （定員 100 名）

https://www.wnp.waseda.jp/portal/services/Application/module/Application.php?mode=preview&enq_id=4dd52fe1329cfae0ea4aed6c

8. 問合せ先： 循環型環境経済共創システム研究所 事務局 児玉

TEL: 03-5272-6326 E-mail: m.kodama2@kurenai.waseda.jp

平成24年9月4日

酒田リサイクルポート推進協議会

会長 相田 信

NPO法人庄内リサイクル産業情報センター

理事長 児玉 健一

(公印省略)

酒田港国際資源循環フォーラム開催のご案内

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

昨年11月に酒田港がリサイクル貨物に係る日本海側拠点港に選定をされたことを受け、昨年まで酒田港・能代港・姫川港の三港で行ってきた合同勉強会を、酒田港が中心となり、他のリサイクルポートとも連携し、国内のリサイクルポートとの情報交換、交流を行い、リサイクルポートのさらなる物流拡大を図る機会にしたいと考えております。さらにこの度、中国・韓国まで含めた国際資源循環ネットワークの構築を目指し、下記のとおり酒田港国際資源循環フォーラムを開催することと致しました。

時節柄、何かとご多用のことと存じますが是非御参加頂きたく御案内申し上げます。

なお、参加希望の方は、別紙に出席申込書を添えますので、ご記入の上、9月13日(木)までお申込ください。

《酒田港国際資源循環フォーラム 開催概要》

日 時 平成24年9月20日(木) 14時30分～17時30分

会 場 ホテルリッチ&ガーデン酒田

(酒田市若竹町1丁目1-1 TEL0234-26-1111)

参加費 無 料

主 催 酒田リサイクルポート推進協議会／NPO法人庄内リサイクル産業情報センター／酒田ポートオーソリティ検討協議会

共 催 ジェトロ・アジア経済研究所／ジェトロ山形

後 援 国土交通省／環境省／山形県／酒田市／鶴岡市／遊佐町／庄内町／三川町／山形県港湾協会／酒田港湾振興会／酒田商工会議所

また、フォーラム終了後、同会場にてレセプション(18:00～19:30/参加費5,000円)も予定しておりますので、併せてご出席賜りますようお願いいたします。

《連絡先》

酒田港リサイクル産業センター 内

NPO法人庄内リサイクル産業情報センター 事務局 阿曾 智彦

TEL: 0234-31-7117 (直通) FAX: 0234-33-2660

酒田港国際資源循環フォーラム次第（予定）

1. 開 会 （14：30）

2. 主催者挨拶 酒田リサイクルポート推進協議会
会長 相田 信（山形県県土整備部次長）
NPO法人庄内リサイクル産業情報センター 理事長 児玉 健一

3. 来賓あいさつ 酒田市長 阿部 寿一氏
国土交通省

4. 講 演 中国社会科学院中国循環経済環境評価予測研究中心主任 斎 建国氏
「中国の資源循環政策・都市鉱山プロジェクトについて」

日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所
新領域研究センター 環境・資源研究グループ長 小島 道一氏
「アジアにおけるリサイクルと国際資源循環について」

----- 休 憩（16：00） -----

5. 事例発表 唐山市再生資源有限公司 総経理 張 向安氏
東北大学 准教授 劉 庭秀氏
東北公益文科大学 講師 一ノ瀬 大輔氏

6. パネルディスカッション

《テーマ》

東アジアにおける都市鉱山事業及び資源循環ネットワークを構築する
ために

《コーディネーター》

一ノ瀬 大輔氏

《パネリスト》

斎 建国氏

小島 道一氏

張 向安氏

劉 庭秀氏

国土交通省

7. 閉 会 （17：30）

庄内リサイクル産業情報センター 阿曾あてFAX送信票

FAX 0234-33-2660

MAIL aso@sakataport.co.jp

酒田港国際資源循環フォーラム

出席申込書

団体名		
連絡担当者	職氏名	
	Tel	
	Fax	
	E-mail	

出席者(別紙可)

事業所・団体名	職名	氏名	レセプション 出席=○ 欠席=×